

101-36

問題文

血小板のプロスタノイドIP受容体を刺激して、血小板凝集を抑制するのはどれか。1つ選べ。

1. ナファモスタット
2. チクロピジン
3. ダルテパリン
4. ペラプロスト
5. シロスタゾール

解答

4

解説

選択肢 1 ですが

ナファモスタットは、タンパク質分解酵素阻害薬です。急性膵炎の治療に用いられます。血小板凝集抑制薬では、ありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

チクロピジンは、ADPのP2Y12受容体を遮断することでアデニル酸シクラーゼ活性を増強しサイクリックAMP（cAMP）を増加させます。その結果、血小板凝集を抑制させます。プロスタノイドIP受容体の刺激によってでは、ありません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 ですが

ダルテパリンはヘパリン類似薬です。「アンチトロンビンⅢを介した抗Xa因子作用を十分有するが、アンチトロンビンⅢを介した抗トロンビン作用がそれほど強くない」という特徴を有する薬です。プロスタノイドIP受容体の刺激では、ありません。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 は、正しい選択肢です。

選択肢 5 ですが

シロスタゾールは、ホスホジエステラーゼ阻害により作用する抗血小板薬です。プロスタノイドIP受容体の刺激では、ありません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 4 です。